別添－３

**ＩＣＴ活用工事（舗装工）計画書**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック  欄 | 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 適用する技術番号 | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 |  |  | １．地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  ２．ＴＳ等光波方式を用いた起工測量  ３．ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  ４．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ５．その他の３次元計測技術を用いた起工測量  　〔５．を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　　　　　〕 |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  | | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成であり、ICT 建設機械にのみ用いる３次元設計データは含まない |
| □ | ③ICT建設機械による施工 | 路盤工 |  | １．３次元マシンコントロール建設機械  ※採用する機種及び活用作業工種・施工範囲（別途平面図による）については、受注後の協議により決定する。  ※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかで、ICT建設機械を活用すればよい。 |
| □ | ④３次元出来形管理等の施工管理 | 出来形 |  | １）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  ２）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理  ３）ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  ４）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  ５）その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  　〔５．を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　　　　　〕 |
| □ | ⑤３次元データの納品 |  | | |

【内容】

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については「熊本市ＩＣＴ活用工事（舗装工）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注２）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用してもよい。

注３）①、④において、「その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注４）一部活用の場合は、下表にある５つのタイプいずれかを採用すること。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセス区分 | ＩＣＴ  全活用 | ＩＣＴ一部活用（簡易型） | | | | |
| タイプ① | タイプ② | タイプ③ | タイプ④ | タイプ⑤ |
| １）３次元起工測量 | ○ | ○ | － | － | ○ | － |
| ２）３次元設計データ作成（必須） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ３）ＩＣＴ建設機械による施工 | ○ | ○ | ○ | ○ | － | － |
| ４）３次元出来形管理等の施工管理 | ○ | － | ○ | － | ○ | ○ |
| ５）３次元データの納品（必須） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |